

## 中国が目指す「美しい生活」とは？

肖敏捷

2019/3/21

今回は、時事通信に掲載された筆者の表題のレポートをご紹介します。全文は<https://www.jiji.com/jc/v4?id=1903cec0001>でご覧になっていただきたいが、「全人代」の開催後、「美しい生活」をキーワードに中国の政策の方向性が大きく変わり始める可能性を指摘しています。抜粋は下記のとおりです。

A:2019年の政府活動報告の注目点は何か。日本国内の報道をみるかぎり、①政府は19年の経済成長率目標をこれまでの6.5%から6.0~6.5%に修正し実質的に引き下げた②米中貿易摩擦を意識して「中国製造2025」「世界強国」といった表現が消えた③報告を読み上げた際、李首相の額から汗が出て、NHKの夜7時のニュースはわざわざアップで汗を強調した—ことなどにまとめられるかもしれない。

B:いずれも面白い着眼点であり、読者や視聴者の心をつかみやすい。とりわけ、米中貿易戦争の激化、中国の景気の急減速といった環境変化の中、中国当局が全人代を通じてどのようなメッセージを発信するののかという問題意識を最初から持って、政府活動報告から答えやヒントを得ようとした関係者は少なくないはずだ。だから、李首相がしきりに額の汗を拭くシーンを見て、「中国経済はやはり深刻だ」「李首相は相当苦勞しているのだ」といった見方ができてしまう。

しかし、中国経済が絶好調のときも、李首相は政府活動報告の際に汗を拭いていたことを覚えている。真相は分からないが、こういったところで詮索してみても仕方がない。

全人代はあくまでもドメスティックなイベントであり、海外向けよりも中国国内向けにどのようなメッセージを発信するかが、一番重要なチェックポイントだ。確かに、米中貿易協議がヤマ場を迎える最中に、「中国製造2025」「世界強国」といった米国からの批判を招きかねない表現を避けたのは、海外向けメッセージだからと言えるかもしれない。

C:李首相が政府活動報告の中で頻繁に使いながら、ほとんど見逃されてしまった一つのキーワードがあった。筆者は、これが今後の中国経済の行方、あるいは中国ビジネスのあり方を考える際に欠かせないチェックポイントだと考えている。それは「美好生活」という表現だ。

日本語に訳すと「美しい生活」という表現が、皆さんの目にとどまらない理由も分かる。どこかの百貨店のキャッチコピーのようなもので、あまりにも文学的すぎるかもしれない。

しかし、これは中国の政策の方向性が大きく変わる可能性を示唆する言葉として念頭に置いた方がいい。

以上

---

.....

本レポートは肖敏捷が AIS CAPITAL 株式会社の代表パートナーとして日常業務を展開しながら、独立系エコノミストという立場から、今後、このメールマガジンを通じて不定期に中国経済などに関する情報を発信いたします。微力ながらお役に立てれば幸甚です。

AIS CAPITAL 株式会社

代表パートナー 肖敏捷      TEL 03-6386-4360      HP:[www.aiscapgroup.com](http://www.aiscapgroup.com)

〒100-6510 東京都千代田区丸の内1丁目5番1号新丸の内ビル 10F

.....